

土木遺産な旅ノート「門司港駅周辺ぐるっと旅」

「土木遺産な旅のススメ」に載っている“旧0哩標”を見てみたい！と思い、旅に出ることに。地図を見て気になった場所をピックアップし巡ってみた「旅ノート」です。



新旧の0哩(ゼロマイル)標 新旧を比べる！

九州鉄道の起点を表す「0哩標」。九州鉄道記念館には明治24年に九州鉄道会社が門司駅(現門司港駅)を開業した際の旧0哩標があります。大正3年に駅とともに起点も移転し撤去されましたが、鉄道開業100周年を記念して門司港駅舎構内に建立されています。



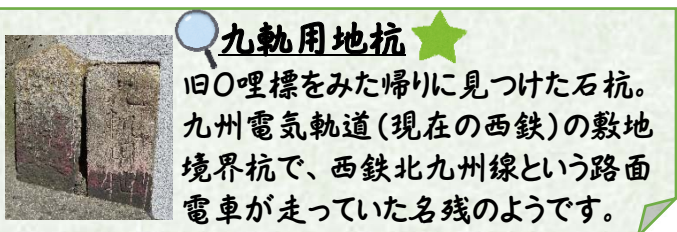
旧0哩標(九州鉄道記念館)



0哩標(JR門司港駅)

潮風号のルート なぜここに？

「九州鉄道記念館駅」「出光美術館駅」「ノーフォーク広場駅」「関門海峡めかり駅」の4つの駅をつなぎ、門司港レトロの街並みを駆けるトロッコ列車「潮風号」(土日祝日に運行)。石灰石、セメントなどを積出港である田浦港まで運んでいた臨港線(貨物線)の一部区間を走る観光列車です。地図を見ると「ノーフォーク広場駅」の先に線路が続いていたことが分かります。平日に訪れたので乗車できず残念…。



九軌用地杭 緑★

旧0哩標をみた帰りに見つけた石杭。九州電気軌道(現在の西鉄)の敷地境界杭で、西鉄北九州線という路面電車が走っていた名残のようです。

門司港駅 新旧を比べる！

大正3年に門司駅として開業。保存修理工事を経て平成31年に創建時の姿に復原。鉄道駅舎として日本で初めて国の重要文化財に指定。なんと、改札側の階段かカフェ奥のエレベーターから2階に上り、旧貴賓室や旧次室等の見学ができます。レトロな空間に突然現れるエレベーターはなかなか異質でおもしろいです。

ブルーウイングもじ 見てみたい！

西海岸地区再開発事業の一環として門司第一船溜まり周辺の回遊性を高めるために設けられた、全長108m、日本唯一の歩行者専用の青い跳ね橋。1日に6回、音楽に合わせてゆっくりと約4分間かけて跳ね上がります。開閉の時間には観光客が集まっていた。

北九州水道100周年記念碑 何だろう？

平成23年に北州市の近代水道100周年を記念して設置された記念蛇口。3種類の蛇口からは水が出ます。他にも、記念式典や展示会、植樹等、様々なイベントが開催されたそうです。給水を開始した旧門司市の地に設置したのかも？



「潮風号」HPより引用



門司港出征の碑 なぜここに？

戦時中門司港より戦地へ赴いた多くの兵士を偲び平和を願う碑。周りには彼岸花が咲いていました。近くには軍馬が出征前に最後に水を飲んだ水飲み場もあります。門司港のレトロな雰囲気から少し離れて、忘れてはならない歴史に思いを馳せる時間となりました。



門司税関の浮きさん橋跡 何のために？

大正8年に門司税関によって設置された浮棧橋の跡。外国貿易船で往来する作業員や、積み降ろしされる船内用品の監視・取締りを行なう場所。



ガス灯通り 通りの名前が気になる！

明治22年の開港以来、多くの外国貿易船で賑わった港町門司港の風景の一つとしてレトロな雰囲気を醸し出すガス灯を設置したそうです。点灯時間は日没から午前0時まで。



ポケふた ★

ガス灯通りを歩いていると、サーナイトとルナトーンが描かれたポケふたを発見！美しい景色のせいかあまり気付かれていないようでした…。



ランチ ★

門司港といえば焼きカレー！とろりとしたチーズと卵がカレーによく合いました。あっつあつです。



旅のまとめ

旅の目的“旧0哩標”を見る前に門司港駅に着いてすぐに新？0哩標を発見して驚きました。笑。門司港のレトロな雰囲気と美しい景観について目が行きがちですが、歴史的建造物も多くあり、案内看板も設置されているので貿易の拠点として発展した門司港の歴史を学ぶことができます。とても天気が良く空も海も景色もきれいでした！